

『探していたものは、ここにあったんだ』



|| 地域おこし協力隊 活動報告 ||

たかお新聞

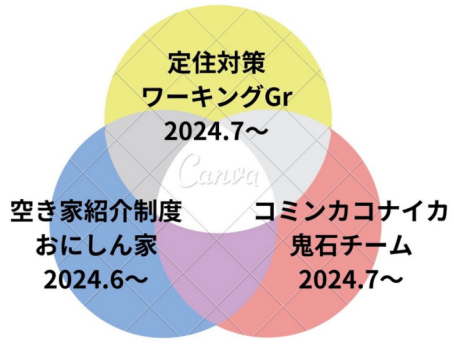
3月号

2026.3.30

[制作]
鬼石総合支所
地域おこし
協力隊

地域おこし協力隊として迎える三度目の春。減る人口、増える空き家。その現実に向き合い、支所の職員として課題解決に奔走してきました。地域の魅力を伝え、田舎暮らしの旅へ招き、住まいの相談から定住支援へ。誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを目指し、鬼石への移住へとつなぐ「奇跡の4ステップ」を実現してきました。

そして、やりたかったことが、すべてここにあったのだと気づきました。群馬へ帰る道をさまよっていたあの時、自分を快く受け入れてくれた懐深き地域の人々への感謝を胸に、これからも歩み続けていきたいと思っています。



新たな挑戦 ”食品ロス低減”



人口減少が進む鬼石地域。魅力発信の業務を通じて、地元の有機栽培農家さんと出会いました。「最近では人手が足りず、育てた作物の収穫ができないんだ」ビニールハウス一面に広がる、大きく育ったほうれん草を前に、農家さんは悩んでいました。

「これはもったいない。何かできないだろうか。」これまで培ってきた空き家マッチングの経験を活かし、家庭菜園を楽しまたい移住者や地域の皆さんとともに人手不足を補い、新たな販路も切り拓いていく。そんな新しい地域おこし活動が始まりました。

たかおの挑戦は、まだまだ続きます。

編集後記

えぐみなく 笑顔あふれて 春爛漫

【編集担当 星野 貴男】